

カーボンニュートラル社会連携共同講座

Carbon-Neutral Social Cooperation Lecture

The Government and Fukushima Prefecture have declared their aim to become carbon neutral by 2050, and the training of engineers with knowledge of carbon neutrality is an important issue.

In 2024, following on from 2022 and 2023, National Institute of Technology, Fukushima College was chosen as a representative of higher education institution by subsidy program of Ministry of Economy, Trade and Industry. Therefore, we established the "Iwaki Carbon-Neutral Social Cooperation Joint Course" in collaboration with a consortium comprising 18 local companies, with The Furukawa Battery Co., Ltd. as the lead company. This course is scheduled to be continued in 2025 and beyond, and will work with local companies to create new industries and realise a carbon-neutral society through human resource development, technological exchange, promotion of cooperation, joint research and development, and promotion of exchange with overseas universities in relation to carbon neutrality.

1. 概要

政府及び福島県は2050年に向けてカーボンニュートラルの実現を目指すことを宣言しており、カーボンニュートラルに関する知識を身に付けた技術者の育成が重要な課題となっています。本校では、2022年度および2023年度に引き続き2024年度にも経済産業省事業の「高等教育機関における共同講座創設支援事業費補助金」に採択され、古河電池株式会社を幹事会社とする地元企業18社から成るいわきCN人材育成コンソーシアムと共同で「いわきカーボンニュートラル社会連携共同講座」を開設しました。本講座は2025年度以降も継続して実施する予定であり、今後はカーボンニュートラルに関する人材育成、技術交流、連携推進、共同研究・開発、海外大学との交流推進を通して、新産業創出やカーボンニュートラル社会の実現に結びつくよう地元企業と連携して取り組んでいきます。

2. 2024年度実施プログラム

本事業では、共同講座と公開シンポジウムを実施しました。

共同講座

本校専攻科1年生、地元企業従業員およびいわき市民を受講対象者として、全国からカーボンニュートラルに関して第一線で活躍する講師を迎え、全15回の共同講座を開催しました。

【講義テーマ】

新エネルギー政策/環境地域政策/太陽光・太陽熱利用/水素・アンモニア/製造・工場/インフラ/次世代燃料/メタネーション/リチウムイオン電池/蓄電池等

公開シンポジウム

本事業の総括として、本校学生、地元企業の従業員、一般市民を対象とした公開シンポジウムを開催しました。

【プログラム】

基調講演：「近年の異常気象と気候変動」

講師：気象予報士キャスター 井田寛子 氏

パネルディスカッション

「カーボンニュートラル社会でいわきの未来を!」

